

清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体が立ち上がりました



清瀬市では、地域にお住まいの方々が地域を支える「支え合い活動」を推進し、住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくりを目指して、「清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体」を設置しました。この協議体では、社会福祉協議会や自治会など、多様な関係団体や市民の方と一緒に「地域で気軽にお互い支え合える清瀬市」を目指します。

今号では、協議体の活動内容や協議体委員の方を紹介します。

問合せ 地域包括ケア推進課福祉総務係 ☎ 497・2056

地域で支え合う仕組みはなぜ必要？

社会情勢の変化により、個別に抱える生活上の問題は、複雑かつ多様化しています。そのため、公的サービスだけでは生活のすべての問題を解決することができません。

住み慣れた地域で問題を解決するためには、地域における住民同士の助け合いが極めて重要になってきます。足腰が弱り、日常生活で必要なごみ出しや買い物に行くことが難しいなど、身近な問題に対応するためにも、「住民の支え合い」が必要不可欠です。



生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体はどのような活動をするの？

この協議体は、介護予防・生活支援の基盤体制整備と住民主体による「互助」を基本とした支え合いの地域づくりをするのが目的です。そのため協議体では、「清瀬の目指す地域像」を考え、地域づくりにおける意識の統一を図ります。しかし、地域によって生活を支えるサービスなどの資源が異なるため、地域により目指す地域像は異なります。そのため、以下の内容を実施します。

- 地域資源の把握
- ニーズ調査
- 足りない資源の開発
- 地域に住む方々による支え合い活動の推進など



このようにさまざまな企画立案、方針策定などを行うなかで、委員とともに中心となって活動を推進するのが生活支援コーディネーターです。別名「地域支え合い推進員」として、支え合い活動の取り組みを推進します。この仕組みは協議体委員や生活支援コーディネーター



だけでは進めることができません。地域にお住まいの皆さんの力が重要です。「清瀬の目指す地域像」の実現に向けて支え合い活動に一緒に取り組みましょう！

協議体の愛称を募集中！

地域の方々に広く知っていただき、親しんでいただけるような協議体の愛称を募集します。皆さんのアイデアをお待ちしています。

応募資格 市内在住・在勤・在学の方（何通でも応募可）
※修正して使用する場合があります。応募用紙は返却出来ません。
※採用された名称の権利は清瀬市に帰属します。

発表 8月28日(日)開催予定のフォーラム「みんなで創ろう ささえる街きよせ」にて発表します。

応募方法 7月15日（消印有効）までに、地域包括ケア推進課・各地域市民センターなどにある所定の応募用紙（市ホームページからもダウンロード可）に愛称・必要事項を記入し、直接窓口または郵送で地域包括ケア推進課福祉総務係へ

8月28日(日) 協議体に関するフォーラムを開催！

皆さんに、支え合いの重要性や協議体の目的及び活動をよりご理解いただけるよう、8月28日(日)午後（予定）にフォーラム「みんなで創ろう ささえる街きよせ」を開催します。

このフォーラムでは全国で絆のある地域づくりを推進されている、公益財団法人さわやか福祉財団の堀田 力氏（元東京地検特捜部検事としてロッキード事件を担当）の講演の他、皆さんから募集した協議体の愛称を発表します。詳細は市報や市ホームページでお知らせします。

清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体委員

清瀬市では、公益財団法人さわやか福祉財団に支援をいただきながら、平成27年4月から10月にかけて、計4回の勉強会を開催し、その経過をふまえ、協議体委員及び生活支援コーディネーターを選出しました。この委員にはサロン運営者・自治会関係者・健康づくり推進員・社会福祉協議会職員など、地域で実際に活動されている方やさまざまな団体から参加していただいています。（下表参照）

所属	名前
六小地区自治会連合会	阿久津 州美男
清瀬市社会福祉協議会	星野 孝彦
清瀬市老人クラブ連合会	小野 秀
清瀬市健康づくり推進員	高田 徳次郎
清瀬市民生・児童委員協議会	柳原 義介
公益財団法人清瀬市シルバー人材センター	福嶋 康人
社会福祉法人清悠会	村田 秀子
きよせ社協地域包括支援センター	名古屋 英幸
きよせ信愛地域包括支援センター	上垣 真人
きよせ清雅地域包括支援センター	羽田 ゆかり
清瀬商工会	内野 光裕
NPO 法人情報労連東京福祉センター	内田 豊
地域サロン関係者	田中 三和子
地域サロン関係者	近藤 礼子

☎生活支援コーディネーター（清瀬市社会福祉協議会）鍵和田 卓也

5月26日、清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体の皆さんによる会議が行われました。支えあいの仕組みづくりに向けて尽力する委員の方からの意気込みやコメントを紹介します。

皆さんのいろいろな考え方を学んでいきたいと思えます。

要介護の人も要支援の人も一緒に参加できるまちづくりができればいいなと思っています。

支え合いの仕組みづくりを協議体を通して考えていきます！

皆で築こう、未来の清瀬！

清瀬の未来のために頑張ります！

地域づくりに今後も関わっていききたいと思えます！

超高齢化時代の地域の介護や支援の力は、隣近所の声掛けと支え合いです。ご理解とご協力をお願いいたします。

清瀬と縁が深く、深いつながりがあり、ぜひとも清瀬に貢献していきたいと思えます！

左から、委員長 阿久津氏、生活支援コーディネーター 鍵和田氏、副委員長 星野氏

次回の会議の開催日程

次回の会議は、7月28日(木) 午後1時30分からです。話し合いの様子など、ぜひ傍聴にお越しください。

※場所など詳しくは市報7月15日号でお知らせします。